

「みんなが主役！私たちの地域づくり」プラン

緑豊かな南丹地域では、今でも祭に象徴される地域のつながりや共助の気風が残されていますが、「地域コミュニティ」が弱くなったことによる課題も生まれています。

変貌しつつある地域社会の課題を克服し、新たな時代に適応した地域づくりを行うためには、地域のみなさん自らの手による取組や、さまざまな分野における協働が必要です。

南丹の豊かな資源を活用し、「住みやすい、住み続けたい」地域づくりを、住民のみなさんと一体となって進めるための取組を提案、実行していきます。

1 南丹地域の現状と課題

● 豊かな自然環境に恵まれた地域

南丹地域は、大都市近郊に位置しながら、緑豊かな自然環境に恵まれています。しかし、近年、里地・里山の生活利用が減り、人の手が加わることによって維持されてきた環境が放置され、かえって自然環境を傷つける事態も招いています。また、地域の子もたちが自然の中で遊ぶ機会も減り、身近な生活体験が不足したまま育つことによる弊害など新しい課題が生まれています。

幾多の生命を育み、すべての人々に安らぎと心の豊かさをもたらす自然の恵みをみんなで守り、地域づくりに活かすことが求められています。

● 伝統文化が受け継がれている地域

南丹地域では、今でも地域のつながりの中で、芸能や祭などに代表される伝統文化が受け継がれてきています。しかし、担い手不足などにより、こうした伝統文化を地域で支えることが難しくなっています。

伝統文化の衰退は、強い情報発信力を背景とした都市型文化の影響による暮らしの均質化を加速させ、住んでいる地域に対する誇りや自信、愛着が弱まることが懸念されます。

時代を超え受け継がれてきた伝統文化をみんなで支えるとともに、一人ひとりが生活の中で文化に親しむ機会を増やすことが大切です。

南丹地域の主な伝統行祭り

亀岡市	穂田野神社佐伯灯籠・人形浄瑠璃（8月）／亀岡祭山鉾行事（10月）
南丹市	都々古和気神社大護摩（3月）／丹波祭り囃子（10月）／西光寺六斎念仏（8月）／多治神社御田（5月）／カッコスリ（10月）／祇園社の神楽（7月）／川上神社からす田楽（10月）
京丹波町	尾長野八坂神社御田祭・丹波八坂太鼓（5月）／葛城神社八朔祭（10月）／質美八幡宮秋祭り（10月）／熊野神社田楽（10月）／和知太鼓／和知人形浄瑠璃／小畑万歳／和知文七踊り
旧京北町	小塩の上げ松（8月）／維新勤王山国隊の行進（10月）

※旧京北町については、2005（平成17）年4月に京都市に編入合併されましたが、歴史的に見て、一体的に南丹地域の文化を育んできた地域であることから、ここでは記載しています。

● 都市化と過疎化、少子高齢化がもたらす新たな課題

南西部地域を中心に都市化が進む一方で、一部では若年層の流出などによって過疎化や高齢化が進展し、地域・家庭・人と人との絆が失われつつあることが懸念されています。また、少子化に加え、児童虐待をはじめとする子どもたちの安全を脅かす事件や事故の発生など、対策に急を要すべき課題も発生しています。

これまで地域によって培われてきたさまざまな絆を取り戻し、そこに住むすべての人たちが互い

の尊重と助けあいの中で安心して暮らせる地域づくりが大切です。

特に、未来を担う子どもたちや若者が将来に夢と希望を持てること、また、年齢や障害、疾病などハンデキャップのあるなしを越えて誰もが当たり前を支え合える地域づくりへの取組みが求められています。

2 プランの目標

目標1：地域のみなさんの手による取組の推進

南丹の豊かな自然や文化を活かし、過疎化、少子・高齢化や都市化による課題を克服するためには、地域のみなさんが主役となって、地域資源を発掘し、育て、活用することで、地域に一層の力をつけることが大切です。

そのためにはまず、地域のみなさんがともに考え、人と人のつながりを回復する取組を積み重ねることによって、住民一人ひとりが活躍できる場や仕組を各所、各分野に協働して築いていくことが必要です。

① 地域のみなさんとともに考えるきっかけづくり

◇ 災害や犯罪から生命や健康を守ったり、身近な困りごとを解決するためには、行政の施策だけでは限界がありますし、個性や強みを活かした地域づくりを進めるためにも、地域のみなさんの参画と協働が欠かせません。こうした府民参画、府民協働の出発点となる地域のみなさんの主体的な取組が活発になるよう、そのきっかけづくりを進めていきます。

- ・地域にあるさまざまな課題の解決に向けて、地域のみなさん自らが主体となって参加、活動する土壌（地域力）づくりを行うための、課題別のワークショップやフォーラムの開催
- ・地域のみなさんの取組やアイデアを反映する事業展開を進めます。

② さまざまなネットワークの形成・活用

◇ 地域振興計画に基づく取組をはじめ、地域で活動する人たちのネットワークづくりがさまざまな分野で進んでいることから、この輪をさらに広げるとともに、より複合的で厚みのある取組やユニークな取組など、ネットワークの強みを活かした地域づくりを進めます。

- ・子育て支援、健康づくり、教育、福祉、環境等さまざまな分野で活動している団体や個人のさらなるネットワーク化
- ・ネットワークの強みを活かした取組の展開を進めます。

目標2：一人ひとりの健康づくりとみんなが支え合う地域福祉の実現

◇ 住民主役の地域づくりを進め、ふるさと南丹をさらに「住みやすい、住み続けたい」地域に成長させていくためには、まず一人ひとりが健康で、持てる力を十分に発揮し互いに支え合うことのできるコミュニティを確立することが大切です。

- ・生涯にわたる健康づくりを地域ぐるみで進める体制づくり
- ・地域のネットワークを活かし、誰もが自立していきいきと暮らすための相談支援の推進
- ・健康、福祉、環境について学ぶことのできる場の提供を進めます。

目標3：地域の総合力を活かした子育て支援や、子ども自身の力を伸ばすことのできる地域環境の整備

◇ 地域の総合力を活かして、子どもを持ちたい人が安心して子どもを生み育てることができる地域づくりを進めることが大切です。

◇ また、子どもと地域の知恵袋である高齢者との交流など世代間交流を図るとともに、子どものスポーツイベント等を通じて地域内交流を促進し、子どもたち自身の「生きる力」「成長する力」を伸ばすことのできる地域環境の整備を進めていくことが大切です。

- ・子育てを地域で見守り、助けあうことのできる地域づくり
 - ・子どもが主体となり、その力を伸ばすためのスポーツや美術工芸に係るイベント等の実施
 - ・世代を越えた交流やさまざまな体験による学習機会の提供
- を進めます。

目標４：伝統文化等の担い手・後継者の育成支援等、文化活動を盛んにする取組の推進

- ◇ 誇りや愛着を持って暮らすことのできる地域づくりのためには、一人ひとりが地域の文化をよく知り、独自の伝統文化を大切に守り育て、未来に引き継いでいくことが大切です。
- ◇ また、平成23年に京都で国民文化祭が開催されるという機会も活用しながら、一人ひとりが歴史や文化に学び、親しむ機会を増やし、個性ある地域づくりにつなげていくことが大切です。
- ◇ 地域の文化を引き継ぎ、あるいは新しい文化を育てていくためには、まず地域に点在するさまざまな情報を積極的に発信していくことが重要です。

- ・郷土学習の推進
 - ・南丹地域の誇る伝統芸能、文化的行祭事を継承する担い手育成の支援
 - ・平成23年国民文化祭京都開催に向けた文化振興
- を進めます。

目標５：住民参加で環境を守り育てる取組の推進

- ◇ 南丹地域の豊かな自然を守り育てるとともに、自然や環境から安らぎや潤い、さらには、健康や郷土への愛着などさまざまな恵みを楽しむことのできる地域づくりが大切です。
- ◇ 自然や環境を守り育てるためには、地域のみなさん一人ひとりの取組と、それが積み重なって大きな力となるように、地域ぐるみで活動を進めていくことが重要です。

- ・未来を担う子どもたちへの環境学習
- ・家庭や地域の交流によって自然、環境を守り育てる取組

を進めます。

3 体系図

